

会 議 録

会 議 名	第 2 5 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 1 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和元年 6 月 4 日（火）午前 9 時 3 0 分～正午		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、川原美紀委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、高橋義教、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 公民館運営審議会（5 月 3 0 日開催）の報告 2 各講座の報告と計画 〔報告〕第 3 6 回貫井南センターまつり・公民館イベント「3 世代で楽しむ科学のふしぎ」 〔計画〕成人学校「江戸野菜に親しもう」、成人学校「親子で社会科見学」、高齢者学級「けやき学級」、成人学校「書に親しむ」、市民講座（仮称）「防災その時、あなたは」、音楽鑑賞のつどい 3 その他 成人学校「押し花アートの世界へ」 次回の日程 令和元年 7 月 2 日（火）午前 9 時 3 0 分～学習室 C		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（５月３０日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 都公連委員部会運営委員会について

- ・今年度の活動方針確定 委員部会は第５６回都公連研究大会（２０２０年２月１日・昭島市）の課題別集会第４を担当。第１回委員部会研修会を９月７日（土）に小金井市市民会館萌え木ホールで開催予定。
- ・第５９回関東甲信越静公民館研究大会が８月２２日（木）・２３日（金）栃木県宇都宮市で開催。都公連は第９分科会を担当。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「かるーい粘土でデコレーションPART 1～子どもも大人も楽しく作れるお花のミニフレーム」、第３６回貫井南センターまつりを提出。質疑なし。但し、市民がつくる自主講座の受付を４月から行い、講座開催時期の前倒しの検討を提案された。

(2) 協議事項

ア 小金井市公民館中長期計画について

公民館から今後の公民館について(本館機能について)の説明する中で、ミーティングルームは公民館専用ではなく、かつ市民が利用できるものではないことや庁舎内に公民館という名称は、市民からすると機能というより市民が活動できる場所があるとの誤解を招きかねないなどの意見が出され、協議は次回継続となった。

(3) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館から成人学校「押し花アートの世界へ」、成人学校「軽量粘土でデコレーションPART 2～大人も子どもも楽しめる貝殻モチーフのリース」を提出、質疑なし。

(4) その他について

- ・９月２２日開催の青少年科学の祭典に公民館運営審議会が出展する方向となった。

次回の会議日程 令和元年６月２７日（木）午後１時３０分から東分館

2 各講座の報告と計画

【報告】

○第３６回ぬくい南センターまつり・公民館特別イベント

「３世代で楽しむ 科学のふしぎ」らしんばん

企画実行委員の事前準備が集合時間からまとまりに欠けていたことと事前

準備が十分と言えなかった。また、子どもが多いイベントでは、気分の悪くなった子どもへの対応をするうえで、事前準備が必要であることを認識した。講師も3世代に向けた実施の反応を気にかけていたが、企画実行委員の積極的な補助に助けられたとのことであった。今回は過去に実施した音楽を聞くだけや見るだけとは違って、参加型がメインであったため、臨機応変な対応が求められた。また、今回は第四小学校、前原小学校へのチラシ配布を行ったが、前原小学校は学校公開日であったことも後に分かったが、事前に近隣小学校のイベントを把握しておく必要がある。事前申込みなく当日にならないと参加人数が分からなかったが、結果、62人の参加があり、乳幼児から大人、親子連れ、祖父と孫まで楽しく参加していたことで3世代楽しめたことは有意義であった。

【計 画】

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

3月5日及び4月2日の企画実行委員の会議では、来年度以降の実施について今年度の実施状況を見て検討し、自主サークルでの開催を模索するとしたが、東京学芸大学の農園貸し出しについて、自主サークルには貸し出ししないとの見解が示されたため、以下の理由から来年度以降実施しないこととした。

【継続しない理由】

- ①受講生の7割がリピーターである。
- ②3年で卒業が毎年、定員が満たないことから形骸化している。
- ③ベテランの意見が強く、若手が育たない。
- ④今年度、16年目と長期に渡り継続しているが、この講座の目的である“江戸野菜で小金井を元気に”の目的が不明瞭である。
- ⑤どうしても、続けなければいけない理由が見つからない。
- ⑥新しい講座を実施し、公民館利用者を開拓していかなければならない。
- ⑦財政が厳しい中、税金投入効果も考慮していかなければならない。

○成人学校「親子で社会科見学」

実施当日の集合場所を、利便性を考慮し、市役所本庁舎の駐車場を予定。対象を小学生とする。実踏日は新東京郵便局との調整が必要となるため未定。7月15日号の市報で応募する。

○高齢者学級「けやき学級」

6月12日（水）実施の野外学習「三笠記念艦&軍港めぐり」実踏を5月15日（水）に行い、三笠記念艦の階段が急であることで参加者への注意喚起が必要。最高齢90歳の方へ参加可否について確認することとした。また、実施日集合場所のコープみらい貫井坂下店へのトイレ借用の打診を行う。学級生に欠員が生じたが、けやき学級は応募が定員の40人だったため、補欠不在であることから補充の意向はなかったが、学級生から知人を入れてもらいたいとの

打診があったため、座学时実施時に他にそういう方がいるか聞いた上で、補充の決定をすることとした。

○市民講座（仮称）「防災 その時、あなたは」

この講座で講師料の3回分を使って実施することが可能。日程案は、9月13日（金）・20日（金）・27日（金）の実施としている中、27日については野外学習として、マイクロバスを予約している。講座内容の構成を貫井南センターまつり後に、担当職員、企画実行委員で協議していくこととする。場合によっては時期を分けて実施することも検討する。

○成人学校「書に親しむ」

5月14日（火）から全6回で開始。講師も丁寧に受講生の席を廻っての指導し、作品を1枚に絞って講師の席で朱墨を使って修正していくため、受講生も熱心に練習を行っている。今後は、自主サークルができるように仕掛けていく。

○市民講座（仮称）「防災 その時、あなたは」

2日間の企画で構成する。9月20日（金）に座学、翌週27日には江東区の東京臨海広域防災公園そなエリアで野外学習を予定。また、今後防災特集を実施の際に、生活弱者や子育て中のママ向けのものも検討する。

○音楽鑑賞のつどい

5月7日（火）の企画実行委員の会議では、緑分館と共同開催することとしていたが、その後、曲の編曲費用等検討課題があること、企画にあたり企画実行委員が不在であることから、松本の判断で共同しないこととし、通常どおりのスプリングコンサートで貫井南近辺の方に喜んでいただける企画をしていくこととなった。

3 その他

○成人学校「押し花アートの世界へ」

6月3日（月）から応募開始、定員20名のところ、現在13人の応募。

次回の日程 7月2日（火）午前9時30分～ 学習室C